

平成30年度 国立大洲青少年交流の家 教育事業

～ サバイバルキャンプ ～ <開催要項>

- ねらい 近年日本各地で大規模災害が発生する頻度が高くなっており、防災力向上は喫緊の課題となっている。防災体験を提供することで、地域の防災力向上を図る。
- 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家
- 後援 大洲市教育委員会
- 期 日 平成31年3月2日(土)～3月3日(日)
- 場 所 国立大洲青少年交流の家
- 対 象 小学校5・6年生の親子
- 募集人数 40名
- 講 師 愛媛大学社会連携推進機構情報教育センター副所長 二神 透
- 必要経費 大人1,620円、子ども1,590円 (食費、保険代300円)
※受付時に集金させていただきます。

10. 日程

	14:00	14:30	15:00	16:00	19:00	20:00	22:00	22:30
2日(土)	受付開始	開講式 入所OR アイスブレイク	講話 「防災って なんだろう？」	「竹で箸をつくろう」(子) 「炊きだし」(親) 夕食	寝床作り ダンボール 又はテント (選択します)	入浴 休憩	就寝 準備	就寝

	6:30	9:00	10:30	12:00
3日(日)	起床 つどい 朝食 片づけ	火おこし体験	野外炊飯 (非常食作り)	アンケート 解散

11. 内容

- 「防災ってなんだろう？」
防災に関する知識を高め、防災について考えます。
- 「竹でお箸をつくろう」
竹を加工して箸を作ります。次の炊きだし体験で使用する箸を作りながら、刃物の使い方を学びます。
- 「炊きだし体験」
鶏しお鍋をつくります。鶏肉、魚介類、ニンニク、野菜等を使って簡単にできる鍋料理です。
- 「寝床作り」
武道場で避難所体験をします。
テント泊又はダンボールを選択し、親子で協力して寝床を作り、寝袋で就寝します。

- 「火おこし体験」
マッチ、ライター以外の道具を使って火をおこします。
- 「野外炊飯」
班に分かれ、火おこし体験でおこした火を使って非常食を作ります。

12. 持ち物

動きやすい服装、防寒着、軍手、タオル、水筒、常備薬、宿泊に必要な日用品(洗面用具等)
※リンスインシャンプーとボディソープは浴室に備え付けがあります。
厳冬期での企画ですので、寒さ対策は十分に準備してください。

13. 申込方法

交流の家ホームページの申込フォームからお申込みください。 <http://ozu.nive.go.jp>



【交流の家ホームページQRコード】

【入力事項】 ①保護者氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号(連絡のつきやすいもの)
⑤メールアドレス ⑥参加児童氏名・ふりがな ⑦小学校・学年 ⑧性別 ⑨年齢(3/2時点)
⑩個人情報に関する同意 ⑪食物アレルギーの有無 他、事業案内の希望有無など

14. 申込締切

平成31年2月12日(火) 17:00

※応募多数の場合は抽選させていただきます。参加の可否については、2月15日(金)までに連絡さしあげます。

15. 交通案内

現地集合を原則としますので、お車でお越しの際は交流の家一般駐車場にお停めください。受付は本館1F 玄関ロビーを予定しています。一般駐車場から本館までは歩いて5分ほどかかりますので、時間に余裕をもってお越しください。

16. その他

- 申込後、参加できなくなった場合は早めにご連絡ください。2月28日(木)の午前10時以降のキャンセルはキャンセル料をいただきます。
キャンセル料の支払い方法については対象となる方にお伝えします。
- お預かりした個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみ使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。なお、事業中に撮影した写真や制作物、感想文等を当機構の事業報告書や広報、報道記事等に使用し、ホームページにも掲載することがありますので、ご了承ください。
- 食物アレルギー等有る場合は申込フォームに記入して下さい。
- 申込時にメールの送受信に不備がある場合は落選扱いとなりますのでお気を付け下さい。
- この事業の詳細については「サバイバルキャンプ」係までお問い合わせください。
- 4年生以下の兄弟が参加される場合は、ご家族と一緒に活動をお願いいたします。

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家
「サバイバルキャンプ」担当 谷村・武藤・大藤
〒795-0001 愛媛県大洲市北只1086 国立大洲青少年交流の家
TEL: 0893-24-5176 FAX: 0893-24-2909 MAIL: ozukikaku@nive.go.jp